

安心で住みよい町に！

議会だより

No. 70

2014.12.30発行

# かんらん

笑顔がいっぱい  
おいしいみかん狩り

知事からGOサイン

女性のスキルアップを

阿南方面へバスを

まちの課題に切り込む

(一般質問) 6▶15

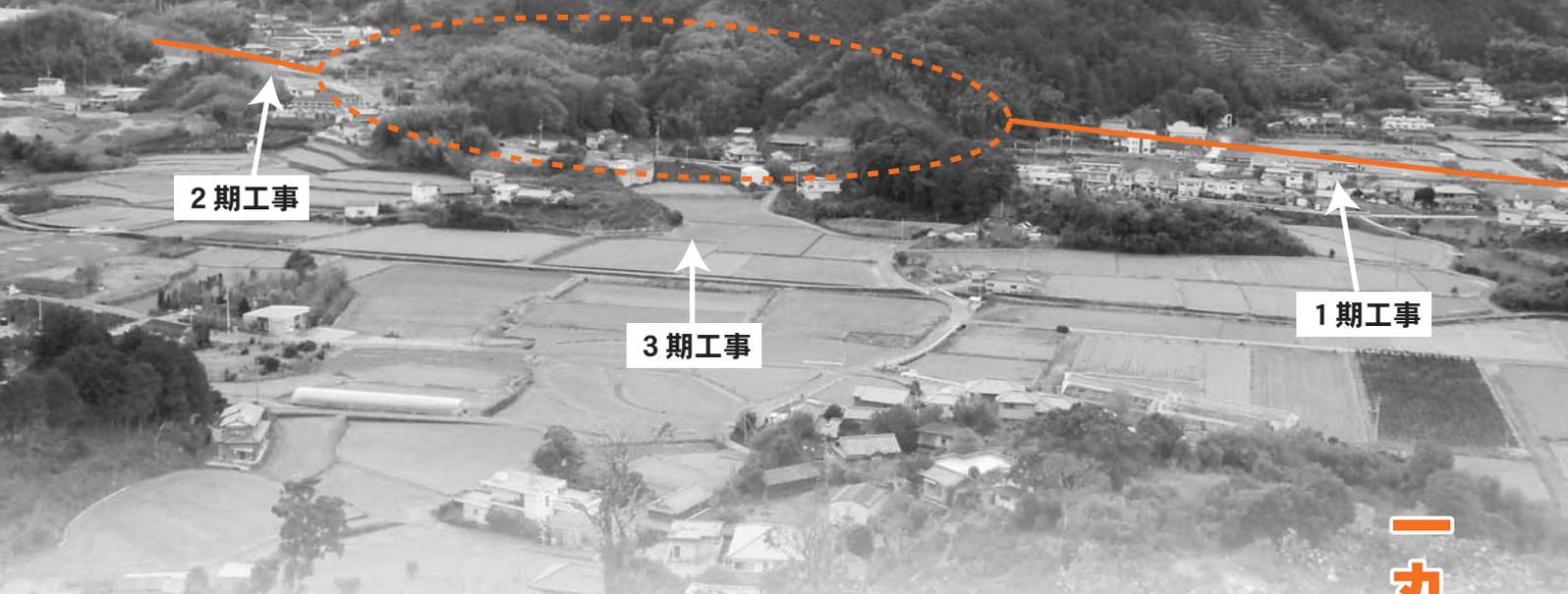
楽しく、歩きへんろを！

棚野遍路道保存会 ボランティアシリーズ 7▶16

# 新年度着工

## 沼江バイパス 3期工事

# 知事からGOサイン



### 一丸となって県知事に要望

地元の熱い思いを受けて、町は9月29日、沼江地区の横尾区長、バイパス事業推進協議会の住友会長他2名、町長、議会議員が知事に対し「沼江バイパスの早期事業化についての要望書」を提出した。

知事は、「現道拡幅と比べて、工事費が格段に高く難航していたが、工事費減額に向けての再調査の結果、コースを少し見直し、27年度に着工する」と明言した。

### 「命の道」として

沼江バイパスは、近い将来必ず発生すると言われている「南海トラフ大地震」の津波からの避難路であり、町への救援物資の重要な輸送路である。

全線開通する事で、最も重要な「命を守る道」となる。



### 年頭のあいさつ

### 地方創生はやる気から

議長 大西 一司

輝かしい新春を迎えおよろこび申し上げます。人口減少、少子高齢化が進むなか、町の活性化の取り組みや具体的な政策立案に向け、力量が試される年です。

議員一丸となって、町の発展に取り組みます。



知事へ熱い要望

## 8月会議

8月19日に開会し、一般会計補正予算と監査委員の選任を審議した。  
また、「町民の声に対する質問」を2議員が行った。

### 補正予算

役場庁舎、福祉センターの耐震および大規模改修工事、実施設計委託料  
1500万円  
(当初予算と合わせ2400万円)



耐震化される役場庁舎、福祉センター

### 議員提出議案

「憲法解釈による集团的自衛権行使容認の閣議決定に抗議する意見書」

### 賛成議員

美馬、河野、籾、国清、森本、山野、井出、川端

### 反対議員

麻植

### 町民の声に対する質問

#### 節議員

#### 利用しやすい基金に

問 「杉の子基金」が設置され2年が経過したが、現在までの利用状況と条件の見直しは。

#### 伊丹参事

答 現在まで、数件の問い合わせがあったが利用者はまだない。  
条件の見直しは、法人設立届けの廃止と補助限度額を50万円から100万円に引き上げる案ができている。

#### 美馬議員

問 町内に設置されているAEDは、適切に管理・点検されているのか。

#### 伊丹参事

答 設置者が維持管理を行っているが、利用しやすい場所や方法の検討を行うとも思うようにする。

### 監査委員の選任に同意しました



西谷 康彦氏  
(今山)

## 9月会議

9月は3日、9日、11日、19日に開かれ、条例の制定、補正予算などを審議し原案通り可決した。  
議員発議の意見書2件は賛成多数で可決した。

### 一般会計補正予算 約8041万円

#### 主なもの

消防費 詰所耐震工事など

(第4、5分団) 1924万円  
空き家利用体験交流 450万円  
みかん販売促進費 320万円

### 質疑

#### 川端議員

問 みかん販売促進費の用途は。

#### 野上産業交流課長

答 ポータブル型の糖酸度測定器の購入費115万円や測定経費など。

問 基準値以下のみかんの取り扱い。いは。

答 今回の目的は、測定により上品質のものをトップブランドとして販売していくもので、それ以外は従来通りとなる。

#### 国清議員

問 「暮らし体験支援事業」として、交流イベントの具体的内容は。

#### 野上産業交流課長

答 10月14日、「ふれあいの里さかもと」で「ひかりのイベント」を計画している。予算は100万円。



「あんどん」もLED

### 議員提出議案

「ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書」

#### 賛成議員 全員

「消費税10%への引き上げに反対する意見書」

#### 賛成議員 河野、国清、森本、山野、井出

#### 反対議員 美馬、麻植、籾、川端

### 教育委員会委員任命に同意

大西直美氏(沼江)

### 固定資産評価審査

#### 委員選任に同意

大谷智彦氏(坂本)

# みかん会議 (11月)

11月6日、26日  
 28日に開会し、  
 補正予算や条例改  
 正、町道認定の審  
 議を行い、原案通  
 り可決した。

一般質問には9議員が登壇し、  
 町政の課題に切り込んだ。

## 一般会計補正予算

約1億2348万円

### 主なもの

災害復旧費(河川、道路など)

9900万円

有害な廃棄物PCB処理費

(勝中解体による) 700万円

農業経営体支援

677万円

消防費(備蓄倉庫など)

448万円

衆議院議員選挙費

623万円



あわや民家に！与川内地区の土砂くずれ



町道認定の現地踏査 (沼江)

### 質問

#### 美馬議員

**問** 勝浦中学校解体時に発生したPCB約200キログラムの保管方法と場所は。また、農業経営体支援の内容は。

#### 伊丹参事

**答** 伊丹参事  
 ドラム缶に密閉し、役場敷地内2カ所で保管している。

#### 野上産業交流課長

**答** 農業経営体支援は「人・農地プラン」に基づいた助成と、災害による農業者支援である。

### 町道認定

沼江銚子ノ口線	200m
星谷二ツ森谷支線	85m
中山神谷線	67m

# 12月会議

## 各会計決算を認定

一般会計歳出総額  
 36億6181万円

12月16日開会し、継続審議となっていた25年度決算認定と請願1件を可決した。また、「町民の声に対する質問」を行った。

## 決算の主な指摘

勝浦中学校校舎の修繕費支出？

### 教育委員会

勝浦中学校校舎、1年点検時の修繕費支出について疑義があった。今後は慎重に対応されたい。

### 産業交流課

鳥獣被害が拡大しているため、対策を強化されたい。

### 福祉課

町民ニーズに合った、交通弱者対策を早急に実施されたい。

### 勝浦病院

院外処方について、患者の利便性向上に努められたい。

## 請願

「公共施設へのLPGガス設備の導入に関する請願書」

紹介議員 国清一治

賛成者 全員

## 町民の声に対する質問

### 節議員

**問** 町内には狭い道が多く、小回りの利く軽の患者輸送車の導入が望まれていた。11月に軽の患者輸送車が納入されたが、購入金額と規格、運用方法は。

#### 伊丹参事

**答** 購入金額は451万円で、定員は4名、ストレッチャーの長さは180cm。人員体制はそのまま、現場へは2台で向い、軽で輸送し乗せ換える。



狭い道でも可能 (軽の患者輸送車)

女性のスキルアップを

## 全国初の女性議員連盟に参加



これからは女性の出番

先進地視察やスキルアップ講座を定期的に開催している。県内での女性議員のさらなる活躍と増加をめざしていく。ビッグひな祭りの開催時には、勝浦町で研修会を行う予定である。

女性議員が活躍できる環境づくりを行い、女性議員を増やし、女性の声がより一層反映される社会をつくることを目的に、7月31日に「徳島県町村議会女性議員連盟」が発足した。勝浦町議会からは井出、美馬議員が参加して、積極的に活動している。



女性議員の多い（6人）播磨町への視察

まちの声

# キャッチボール

第2弾

## 阿南方面へバスを

「勝浦町の高校生の通学を考える会」8名と全議員が、10月22日懇話会を開いた。

この会は、阿南方面へのバスの運行を望む町内の保護者の団体で、8月に町に陳情書を提出している。



子供たちの将来を考えて

### 会からの声

現在、阿南への通学には親の送迎、自転車、バス・JRの乗り継ぎなどで不便を来し、転出する家族もある。新たに徳バスの阿南への乗り入れなどを強く求める。

### 議会から

現在の勝浦路線を維持するため、隣接する小松島市、徳島市と共に補助金を出しており、阿南方面への乗り入れは難しい。

今後、新たな交通手段を考える必要がある。議会からは、これまでも同様の提言をしている。

# 一般質問

議員が町の執行部に対して、様々な角度から町政について質問すること

# 町の課題に切り込む!

質問議員	質問事項	ページ
山野忠男	1、農作業、省力化に支援を 2、若者定住対策、賃貸住宅の現状は 3、危険ドラッグの実態は	7
河野道雄	1、児童生徒の体力向上を 2、若者の定住対策強化を 3、交通手段の確保を	8
美馬友子	1、女性が活躍できる町づくりを 2、勝浦病院でできないか、病児・病後児保育 3、子宮頸がん検診、HPV検査の併用検査の助成を 4、コスモスの花で60周年を迎えよう	9
森本守	1、「木村式自然栽培」で町おこしを 2、地籍調査の現状は 3、勝浦病院、予約方法の改善を	10
麻植秀樹	1、有害鳥獣対策、駆除体制の強化を 2、生比奈小学校、安全な児童の通学を	11
井出美智子	1、生ごみの減量化を 2、ひとり親家庭の支援充実を 3、もっと安く、ケーブルテレビ料金	12
国清一治	1、かつうら創生、「ひな五輪」の計画を 2、いつ着工するのか、沼江バイパス3期工事 3、間に合うのか、新浜勝浦線改良工事 4、どうする、鶴林寺入口のトイレ改修 5、そのままにするのか、危険な星谷橋	13
節公一	1、教育委員会の方針は、「土曜授業」の取り組みは 2、どうする、「地方創生」への対応 3、合併の見通しは	14
川端雅夫	1、どう進んでいるのか、賃貸住宅建設 2、空き家対策は 3、学力向上支援員の役割は 4、上勝町との教育委員会の統合は	15

## 会議予定日

1月20日 2月17日 3月は3日・4日・17日~20日



## 農作業

# 省力化に支援を

### 良いアイデアは新メニューに (産業交流課長)



楽らく「移動式プレーキ付手動ミニレール」

**問** 農作業の省力化のため、みかんを運ぶ「移動式プレーキ付手動ミニレール」を考案して使っている。

**答** これは、25mmの直管のパイプを2本引き、その上のみかんを積んだ台車を走らせるもので、急傾斜地での運搬作業が大変楽になる。高齢化し運搬が困難な農家に勧めては。

**問** 野上産業交流課長  
農作業の効率化に向けた

良いアイデアは、新年度の町単補助のメニューに加えたい。

### 若者定住対策

### 賃貸住宅の現状は

満室となっている(参事)

**問** 町民が丸となって、人口減少を抑制しなければならぬ。沼江地区の若者賃貸住宅の現状は。

**答** 伊丹参事

現在、12戸30人が入居し満室となっている。内訳は、子育て世帯7戸、夫婦世帯2戸、その他3戸となっている。

**問** 昨年9月にスタートした、高卒までの「医療費無料制度」の状況は。

**答** 大西福祉課長

今年10月末で、利用対象者が114人となっており、特に問題はない。

**問** 県では保育士が不足しているが、勝浦町はどうか。

**答** 大西福祉課長

保育士の処遇改善制度や助成制度の整備がされ、確保はできている。

**問** 出産一時金は、保健条例の他に、町が独自施策として増額できないか。

**答** 大西福祉課長

今後の検討課題とする。

### 危険ドラッグの実態は

**問** 全国で、危険ドラッグによる事故や事件が多発している。町の実態と調査は。

**答** 伊丹参事

危険ドラッグは、深刻な社会問題となっているが、町では発生していない。立ち入り調査権がないので調査はしていない。

**問** 児童生徒に、薬物の危険性について、教育や指導はしているのか。

**答** 椎野教育長

小学校では6年生、中学校では全生徒を対象に毎年、喫煙、飲酒、薬物の乱用など、学校薬剤師や小松島署による講演会を行っている。

# 児童生徒の体力向上を

## 全国平均を上回っている

(教育長)

河野道雄  
議員



椎野教育長

**問** 23年度の児童生徒の体力は、47都道府県中、徳島県は最下位で、勝浦町の生徒は県平均よりも低かったが、25年度の体力テストの結果、順位は向上したのか。

**答** 椎野教育長

徳島県の順位は、小学生38位、中学生33位だが、勝浦町では小学校、中学校とも全国平均を上回っている。

**問** 体力づくりには、規則正しい生活と食生活が必要とされている。

健康増進を図るためには、子供の時から料理に親しみ、食についての知識を養うことは大切である。

学校で「ヘルシークッキング」などの取り組みはあるのか。

**答** 椎野教育長  
「ヘルシークッキング」の取り組みはしていないが、生比奈小学校において、「子供が作るお弁当の日」がある。

**問** 長野県高山村では生活習慣病予防のために、小学生に無料でヘモグロビンA1cを測っている。本町でも行っているかどうか。

**答** 久木教育委員会事務局長  
本町では生活習慣病予防対策として、小学校6年、中学校2年を対象に空腹時血糖値検査を無料で行っている。その結果によって異常があれば、再検査でヘモグロビンA1cを測っており、その費用は個人負担となっているが、今後、子育て支援として十分検討したい。



がんばるぞー！持久走測定テスト（生比奈小学校）

## 交通手段の確保を

**問** 交通弱者支援として、デマンドバスの検討はしているのか。

**答** 大西福祉課長  
検討はしているが、現時点では、タクシー券と安心サポート事業の充実に努めていきたい。

## 若者の 定住対策強化を

**問** 賃貸住宅業者には、1戸あたり300万円の建築助成をしており、入居者には3年間で72万円の家賃補助をしている。

若者が町内で新築をする場合、400万円の補助をしてはどうか。

**答** 伊丹参事

来年度も現行の補助制度を実施する予定であるので、新たな補助をするのは財政面から難しい。

# 女性が活躍できる 町づくりを

## 女性委員を増やす（参事）

美馬 友子 議員



**問** 女性が町の審議会などで、様々な意見を反映させることが必要。限られた人材でなく、もっと多様なリーダー育成をすべきでは。

**答** 伊丹参事

「男女共同参画基本計画」にも、女性枠を増やすよう盛り込んでいきたい。

**問** 災害弱者を守るには、普段家庭や地域にいる女性

の視点や行動が重要。自主防災組織に女性の活用を推進すべきでは。

**答** 伊丹参事

地域の防災力の向上のため、女性の活躍は不可欠である。女性にも防災士の資格取得を促していく。防災会議にも女性の委員を選任したいと考えている。

## 勝浦病院でできないか

### 病児・病後児保育

**問** 昨年、病児・病後児保育の利用者はなかった。

一番近いところでも小松島市まで行かなくてはならないので、近くの勝浦病院で実施できないか。

**答** 岡本病院事務局長

施設設備に、概算で120万円ほどかかる。また、保育士、看護師の配置も必要で、運営費も多額となるので難しい。

**答** 大西福祉課長

ファミリーサポート事業での、施設までの送迎サービスを活用してほしい。

**答** 中田町長

子ども・子育て会議で、より議論を深めていきたい。

### 子宮頸がん検診

### HPV検査の併用検査の助成を

**問** 子宮頸がんは、ヒトパピローマウイルス（HPV）が持続感染することによっておこる病気であり、若い女性に増加傾向にある。

子宮頸がんは唯一予防できるがんである。現在行っている細胞診とHPV検査の併用を行うことで、がんになる前に発見できる。若い女性を守るためにも検診の助成を。

**答** 大西福祉課長

HPV検査は、任意で検査している。今年は細胞診検査を受けたのが179人で、任意でHPV検査を16人が受けた。

**答** 中田町長

若い女性を守ることは重要で、受診率を上げながら補助制度も検討する。

### コスモスの花で60周年を迎えよう

**問** 来年は町政60周年を迎えるので、地域住民のコミュニケーションの場として、「町の花コスモス」の花づくりに支援を。

これは耕作放棄地の解消対策にもなる。

**答** 野上産業交流課長

国の「中山間直接支払制度」や「多面的機能支払交付金」で、地域の住民と連携して、景観作物の栽培活動を支援することができ。また、町単で農地保全事業でも、種子や資材費の2分の1の助成ができる。



ワーきれい！（中角のコスモス畑）

# 「木村式自然栽培」で 町おこしを

現状では難しい（産業交流課長）

森本  
守議員



**問** 耕作放棄地の有効活用はあるのか。

**答** 野上産業交流課長

農地法、農地経営強化基盤促進法では、「農家は所有する農地を放棄せず、耕作できるように保全管理に努める」こととなっている。農地以外の活用については最近、太陽光発電施設への転用も可能となっていたが、現在、電力の販売事業の認可が中断されている。

町としては、意欲的な農家に農地を集約するほか、新規就農者や移住者へのあつ旋などで、放棄地の活用を進めていきたい。

**問** りんごの無農薬栽培で、映画にもなった木村秋則さんが、一昨年勝浦町で安全・安心な農作物を無農薬、無肥料で営利を目的に生産する農法を指導された。町として「木村式自然栽培」で町おこしをしてはどうか。

**答** 野上産業交流課長

「木村式自然栽培」は、

勝浦町が取り組んできた慣行農法とかけ離れており、指導者がいない現状では難しい。



きついなあー！山林の地籍調査は。（中山地区）

## 地籍調査の現状は

**問** 今年の、中山地区の地

籍調査はどの程度できているのか。

**答** 柳沢建設課長

10月末で73%である。

**問** 早いうちに「山村境界基本調査」を取り入れてはどうか。

**答** 柳沢建設課長  
県に聞くと、「地元精通者がいない所はしない方がよい」とのことである。

## 勝浦病院

### 予約方法の改善を

**問** 勝浦病院へ予約に行ったが、一時間半以上待ち、800円の医療費を払った。また、医師も貴重な時間を使い、医療費のムダ遣いでもあった。改善としては。

**答** 岡本病院事務局長

予約は、医師が診察時に予約票を発行する。受付の者は医療の資格がないので検査内容についての説明ができない。予約検査等で来た時は、診察室へその内容を伝え、患者様と十分話して誤解のないよう努める。

## ■その他の質問

○婆羅尾林道について

麻植秀樹議員



## 有害鳥獣対策

# 駆除体制の強化を

## 狩猟免許取得に助成

(産業交流課長)

**問** 近年、有害鳥獣による農作物被害が深刻化している。被害の実態をどのような方法で把握しているのか。

**答** 野上産業交流課長

農家より被害の報告があった園地については、職員が現地に出向き確認している。

今年度については県農業支援センターの担当者と連携し、町内2地区の被害調査を実施した。

また、中山間集落協定に被害調査票を配布し、被害の状況把握に努めている。

**問** 駆除対策としての取り組み内容は。

**答** 野上産業交流課長

駆除の促進のため、駆除班への報酬費支出や担い手育成として、狩猟免許取得に対して10万円まで助成している。

また、被害防止対策として、防護柵の資材費用の4分の3(上限20万円)を助成している。25年度は14カ所、総延長4035メートル

ルの設置があった。

**問** 県でも職員に狩猟免許の取得を勧めているが、現在の状況は。

**答** 福田副町長

県職員では40名、市町村では66名が取得している。

**問** 他の市町村では、猿が出没し、住民へ危害を加えている。

早く対応するために、町の職員に銃器の狩猟免許取得を勧めては。

**答** 中田町長

積極的に呼びかけていきたい。

生比奈小学校

### 安全な

### 児童の通学を

**問** 児童が安全に通学できる方策を考えているのか。

**答** 椎野教育長

行政として学校での教育、警察の協力、全てのドライ

バーに対して交通モラルの啓発活動を行っている。  
また、安全確保対策として、路面表示の明確化や、道路改良による幅員の確保など、ハード面の整備を行っている。

**問** 児童に山側通学をさせ

**答** 久木教育委員会事務局長

児童の安全を第一に考え、保護者や見守り隊、警察などと協議しながら進めていきたい。



あぶないなあー。(中角通学路)

# 生ごみの減量化を

## 効率的な方法で取り組む（町長）

井出美智子議員



の負担が増えるのではないかと懸念される。大丈夫か。

答 福田副町長  
焼却方法について詳細は決まっていない。

答 笹山住民課長  
JA淡路島で取り組んでいる減量化の先進事例などを研究し、生ごみ対策に取り組みたい。

問 今度の計画では県内の52%もの生ごみが集められる。人口比と生ごみの量で負担額が決まる。町として、今後生ごみの減量化にも取り組み、負担軽減に努めてはどうか。

答 中田町長  
より効率的な方法を取り入れて、生ごみの減量化に取り組みたい。

## ひとり親家庭の支援充実を

問 消費増税と「アベノミクス」で物価は上がったが、賃金は上がらず、様々な困難を抱えながら子育てをしているひとり親家庭が増えていくが、町の現状はどうなっているのか。また、町独自の支援策はあるのか。

答 大西福祉課長  
父子家庭は17世帯で子供25人、母子家庭は51世帯で子供85人である。町独自で、母子福祉年金を出している。

問 子育てに対する高いレベルでの支援が求められている。低所得者向けの学習塾を開設してはどうか。

答 久木教育委員会事務局長  
国、県の補助金を活用し、「中学生未来塾」などの取り組みができないか検討する。

## もっと安く

### ケーブルテレビ料金

問 ケーブルテレビの契約更新が27年度に行われるが、インターネットを使わない世帯の料金をもっと安くできないか。

答 伊丹参事  
今までどおり、IP電話、ケーブルテレビ、インターネットのセット料金を継続するほうが有利と考えている。

問 IP電話の利便性を向上させ、安心して固定電話を止められるようにするなど、利用の実態にあった料金体系にするべきだ。

答 伊丹参事  
個別の料金体系にすると、割高になってしまう。IP電話の利便性向上に努めたい。

問 徳島市など7市町村で協議しているごみ焼却炉は、佐那河内村を建設予定地とするとの報道があったがその内容は。

答 福田副町長  
約390億円の建設費で2021年度の稼働をめざしている。

問 大型溶融炉は各地で失敗し、赤字になるなど、町



菌床で生ごみが水と二酸化炭素に分解（小松島市）



## かつうら創生

# 「ひな五輪」の計画を

### 「リオ五輪」参加に協力する (町長)

**問** 国は人口減少に歯止めをかけるため、町の特性や個性を生かす「まち・ひと・しごと創生法案」を打ち出した。

**答** ビッグひな祭りをオリンピックに参画させる「ひな五輪」の計画を進めてはどうか。

**答** 中田町長  
ひな祭りのオリンピック参画については、今年の6月に「日本スポーツ芸術協会」の相原事務局長（棚野出身）から話があった。

その後、具体的な話もあり、2年後のブラジル・リオネジャネイロ開催の五輪参加に向けて「阿波勝浦井戸端塾」とともに話を進め、町として協力する。

### いつ着工するのか

## 沼江バイパス

### 3期工事

#### 新年度に着工 (町長)

**問** 沼江バイパス3期工事の着工時期は。

**答** 中田町長  
9月に県知事へ要望書提出したときに、知事から「27年度に着工する」と明確な方針が示された。

### 間に合うのか

## 新浜勝浦線改良工事

### 最大限の努力をする (町長)

**問** 工事が遅れている県道新浜線改良工事「中山工区」町長は再三の質問に、26年度内に完了し、27年度の早い時期に「星谷工区」に着工すると答えている。

きたが、「今だ、つち音が聞こえない」。

**問** 間に合うのか。

**答** また、地元に対する説明は。

**答** 中田町長  
県の予算の関係もあり遅れているが、最大限の努力をする。

また、地元に対する説明責任は果たす。

### どうする

## 鶴林寺入口の

### トイレ改修

#### 交付金を活用 (町長)

**問** 利用者が「汚い」と苦情が多い鶴林寺入口のトイレ。どう改修するのか。

**答** 中田町長  
鶴林寺は町の重要な観光資源であり、自然環境整備交付金を活用し改修する。

### そのままにするのか

## 危険な星谷橋

### 架け替えを「過疎計画」に (町長)

**問** 老朽化が進み、過去に重大事故が発生した最後の潜水橋「星谷橋」。21年度の「橋梁長寿命化計画」の調査で、「損傷が著しく早期の架け替えが必要」と指摘されているが、どう対応するのか。

**答** 中田町長  
安全・安心の観点から、架け替えを町の過疎計画に盛り込みたい。



グローバルに ビッグひな祭り

## 教育委員会の方針は

# 「土曜授業」の取り組みは

来年度から実施（教育長）

部  
公  
一  
議  
員



増えるといいなあ 児童数

### 小学校児童数の推移予測

単位：(人)

小学校	平成	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
生比奈		130	136	129	118	114	110	114
横瀬		92	88	85	81	79	78	78

**問** 教育委員会では、3月から毎月「土曜授業」の課題やスケジュールについて、検討しているとのことですが、協議内容は。

**答** 椎野教育長  
学力向上をめざし来年度から実施する。  
時間数は年間約60時間の

予定で、開始時期や学習内容などについて、さらに検討していく。

**問** 平成20年度に設置された「特色ある学校推進協議会」では、生比奈、横瀬小学校ともに、10年間は100人の児童数が確保できる見通しなので、その間は統

合しないとの方針であった。しかし、横瀬小学校ではすでに100人を割っており、数年後には70人程度の予想であるが、教育委員会の認識は。

**答** 椎野教育長

生比奈小学校は、当初の見通しより児童は減少していない。

横瀬小学校も当分の間、複式学級になることはないので、統合は考えていない。

どうする

## 「地方創生」への対応

**問** 「里山資本主義」という言葉を耳にする。

地方の資源を生かしたライフスタイルに魅力を感じ、都会から田舎に移る若者が増えている。

勝浦町も工夫したいのではチャンスになる。「地方創生」の対応として、どのような体制で取り組むのか。

**答** 中田町長  
現在は、企画総務課で事業や予算に関して情報収集に当たっているが、早急に体制作りをして、特色ある提言で成果をあげるようにしたい。

## 合併の見通しは

**問** 町長は以前「合併は必要で避けて通れない」と発言していたが、最近「必要とは思わない」という見解を表明している。どういう根拠で変わったのか。

**答** 中田町長

行財政改革に取り組んできた結果、財政基盤が改善できたのが大きな要因である。

また、広域行政の推進により事業展開が図れるようになった。

**問** 将来的な見通しは。

**答** 中田町長  
私の在任期間中は合併しない。

川端雅夫議員



どう進んでいるのか

## 賃貸住宅建設

用地や資金に問題 (参事)

**問** 今年度、12戸の賃貸住宅建設の計画が予算化されたが、あまり進んでいない。何が原因なのか。

**答** 伊丹参事

一戸建て5戸については進んでいるが、残りの7戸は、予定地が農振地であったり、建設資金や建設後の管理・経営の問題で進んでいない。

**問** Uターンした若者が、「自己資金やローンを組んでマイホームを建てても補助金がないのは不公平である」との声を聞くが、町の考えは。

**答** 中田町長

今後、若者のニーズを聞き、建設ができないなどの状況が出てくれば、新たな方法を検討したい。

### 空き家対策は

**問** 「坂本グリーンツーリズム運営委員会」が国の「過

疎地域等自立活性化交付金1千万円を受け、空き家を改修して12月に「坂本家」をオープンすると言いが、その目的と運営は。  
また、空き家改修に町は補助金を出す考えは。

**答** 野上産業交流課長

「坂本家」の運営については、「坂本グリーンツーリズム運営委員会」と地域おこし協力隊、町が行う。町内には、約170戸の空き家がある。空き家提供

者には、町が紹介し移住促進につなげたい。

**答** 中田町長

空き家改修の補助については、予算もあり検討したい。

### 学力向上支援員の役割は

**問** 現在、勝浦中学校にスクールカーを配置しているが、その役割は。

**答** 椎野教育長

生徒の学力向上支援として、テスト結果の分析や授業に使用する教材の作成、資料の整理や、課題のある生徒の個別学習支援などに取り組んでいる。

また、将来のための自立支援では、不登校の生徒が発生した場合に、学習調整や保護者と学校の連携を図っている。

### 上勝町との教育委員会の統合は

**問** 上勝町と教育委員会の統合についてどう認識しているのか。

**答** 椎野教育長

財政改革という面からは大切であると思うが、今は、教育委員会の合併統合については考えていない。今後の課題としていきたい。



どんどんきてなあー。「坂本家」

# 美しい・町のボランティア

シリーズ⑦

## 楽しく、歩きへんろを！ 「棚野遍路道保存会」

棚野からのへんろ道が、草や木で覆われ荒れ放題になり、お遍路さんが道に迷うようになった。

「へんろ道を通りやすく」と声を掛け合って集まったメンバーが整備を始めたのがきっかけ。

7年前からは、「棚野遍路道保存会」と名付け、年2回へんろ道の環境整備や道しるべの看板設置を行い、掃除後の親睦会も楽しい。

今では、お遍路さんも道に迷うことなく「歩くのが楽しみな棚野の遍路道」となっている。



会長  
太良尾恒博さん



みんなでパッチリ

## 編集後記



昨年は御嶽山の噴火や広島の大震災、長野の地震災害などの大災害が発生し、町内でも大型台風による被害がありました。

12月には県西で、大雪による集落の孤立や遭難事故が起こりました。

しかし、こうして無事に新しい年を迎えられたことに感謝しながらも、防災に対する意識は高めなくてはなりません。

地域の声を反映させるために、町民との「懇話会」を始めていますので、皆様気軽に申し込んでください。  
(左友子)



それ  
ペッタンペッタン

## 表紙写真

みんなで楽しく、みかん狩り